

葛城市一般職員情報セキュリティ研修会の報告

この度、葛城市において、一般職員向けの情報セキュリティ研修会を行いました。その報告をいたします。

日時:8月25日 10:00～11:30 (新庄庁舎)
13:30～15:00 (當麻庁舎)

講師:e-AAC理事 坂田安男

講演内容

情報セキュリティについての一般知識、これらの危険から自分(のPC)をいかにして守るか、著作権、および、万一、情報漏えいがあった場合の対処の仕方などについて、より実践的で、職場ですぐに役立つ内容の講演でした。

また、葛城市総務課より、従来の講演と違った新しい取組を考えて、講演内容に、出席者の参加型の内容を入れてもらえないかとの要望がありました。例えば、その部門の情報資産をあげさせる、とか、いくつかの設問を紙に書いて、記入させる等の要望がありました。

総務課の意向を勘案して、次の2つの方法を取り入れました。

講師が適宜質問をしながら出席者の実態を把握する。

セルフテスト(アンケート)

出席者の情報セキュリティに関する知識や対策などを質問しながら実態を把握し、また、研修時に事前に配布する職員向け資料としてセルフテストの形式にて、設問を設けて出席者に書いていただく。講演の中で、講師が模範解答をするやり方を考えました。セルフテスト用紙は各自課に持ち帰って、自分の課の中でいろいろ検討してもらいたいという考えです。

これらの出席者とのやり取りにて、職員の情報セキュリティに関する実態を把握することができたと思います。

情報セキュリティ講座概要

1. 情報セキュリティについての一般知識 どんな危険があるか?
 - ・何故インターネットが危険か、ネットに接続したPCにどんな脅威があるか
 - ・ウイルス、スパイウェア、ファイル交換ソフト(Winny)、ボット、DOS攻撃、フィッシング詐欺
 - ・成りすまし、改ざん、盗聴
2. これらの危険から自分(のPC)をいかにして守るか
 - ・Windows update、Windowsの脆弱性
 - ・ウイルス、スパイウェア対策ソフトの導入、更新
 - ・ファイアウォール
 - ・パスワードの重要性、生体認証
3. 情報漏洩
 - ・情報漏洩の原因、経路
 - ・個人情報取り扱いのルール
 - ・情報漏洩が発覚したときの対応
 - ・情報漏洩の事例
 - ・ソーシャルエンジニアリング
4. 著作権
 - ・著作権、著作隣接権とは何を守るもの
 - ・著作権侵害とは、何をすると罪になる